

# 2020年度 第2四半期 決算概要

## I. 2020年度 第2四半期 連結業績概要 2020年度 通期 連結業績予想

## II. 補足資料

シャープ株式会社  
2020年11月6日

### 【見通しに関する注意事項】

本資料に記載されている内容には、シャープ株式会社及び連結子会社（以下、総称して「シャープ」という）の計画、戦略、業績など将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は過去または現在の事実ではなく、現時点で入手可能な情報から得られたシャープの仮定や判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性及びその他の要因が内在しています。それらの影響により、シャープの実際の業績、事業活動、財務状況は、これらの見通しと大きく異なる場合があります。また、新たな情報、将来の事象、その他にかかわらず、シャープが将来の見通しに関する記述を見直すとは限りません。なお、業績など実際の結果に影響を与えうるリスク、不確実性及びその他の要因としては、以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- (1) シャープの事業領域を取り巻く経済情勢
- (2) シャープの製品やサービスの需要動向の変化や価格競争の激化
- (3) 為替相場の変動(特に、米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替相場)
- (4) 諸外国における貿易規制等の各種規制
- (5) 他社との提携、アライアンスの推進状況
- (6) シャープに対する訴訟その他法的手続き
- (7) 製品やサービスについての急速な技術革新 など

※本資料の記載金額は、億円未満切り捨て表示としています。

※前年増減額等は、表示された億円単位の金額を元に算出しております。

# I . 2020年度 第2四半期 連結業績概要 2020年度 通期 連結業績予想

**SHARP**

1

- ・ 本日はご多忙な中、ご参加頂きありがとうございます。  
また日頃は、当社の広報(IR)活動にご協力頂き、まことにありがとうございます。
- ・ それでは、パワーポイント資料に沿って、ご説明いたします。

## 2020年度 第2四半期 連結業績概要(1)

---

- 2020年度 第2四半期の業績は、  
ほぼ想定通りに進捗し、2020年度 第1四半期から伸長
- スマートライフは、白物家電などが好調に推移し、  
前年同期から大幅な増益、  
8Kエコシステムでは、想定以上の新型コロナ影響が  
あったものの、MFPやテレビ、ディスプレイなど  
各事業の収益は第1四半期から回復
- 下期には、各セグメントとも回復が進む見込み、  
2020年度の通期予想は、前回予想を据え置く

**SHARP**

2

- まず、2020年度 第2四半期の連結業績の概要です。
- 2020年度 第2四半期の業績は、ほぼ想定通りに進捗し、  
売上高と各利益は、第1四半期から、さらに伸長しました。
- スマートライフは、白物家電などが好調に推移し、  
前年同期から大幅な増益となりました。  
また、8Kエコシステムでは、想定以上の新型コロナ影響がありましたが、  
MFPやテレビ、ディスプレイなど各事業の収益は、  
第1四半期から回復しております。
- 下期には、各セグメントで回復が進む見込みであることから、  
2020年度の通期予想は、前回予想を据え置いております。

# 2020年度 第2四半期 連結業績概要(2)

(単位:十億円)

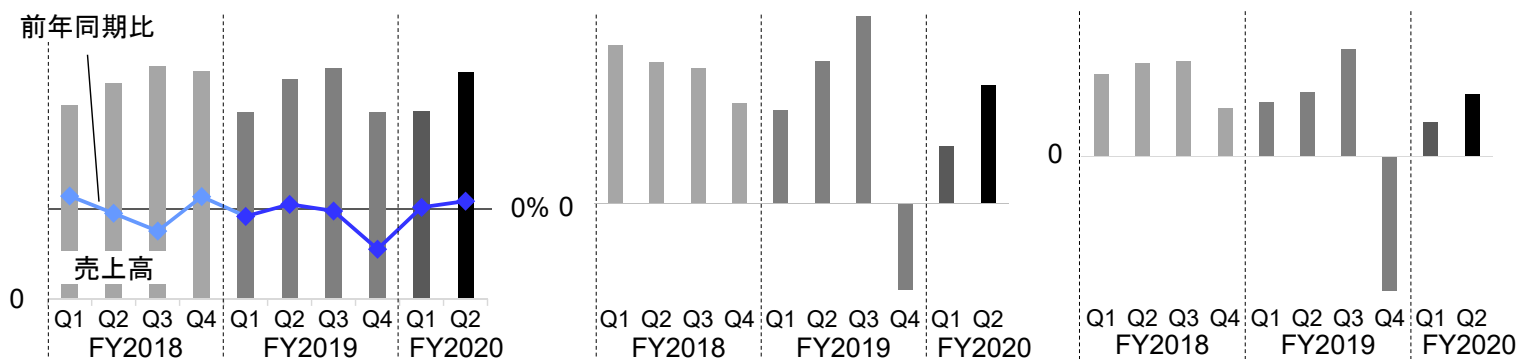
	2019年度				2020年度			コロナ 影響
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	前同比	
売上高	514.9	605.6	634.9	515.6	517.2	624.8	+3.2%	-26.0
営業利益	14.6 (2.8%)	22.3 (3.7%)	29.4 (4.6%)	-13.6 (-2.6%)	9.0 (1.8%)	18.5 (3.0%)	-17.1%	-10.0
経常利益	13.9 (2.7%)	19.1 (3.2%)	31.0 (4.9%)	-8.5 (-1.7%)	7.7 (1.5%)	16.4 (2.6%)	-14.3%	-10.0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	12.5 (2.4%)	14.8 (2.5%)	25.0 (3.9%)	-31.4 (-6.1%)	7.9 (1.5%)	14.5 (2.3%)	-1.9%	-10.0
平均為替レート								
ドル円	108.90	106.35	107.76	107.94	106.62	105.22		
ユーロ円	121.99	117.84	118.82	118.62	116.97	122.61		

売上高

営業利益

親会社株主に帰属する四半期純利益

前年同期比



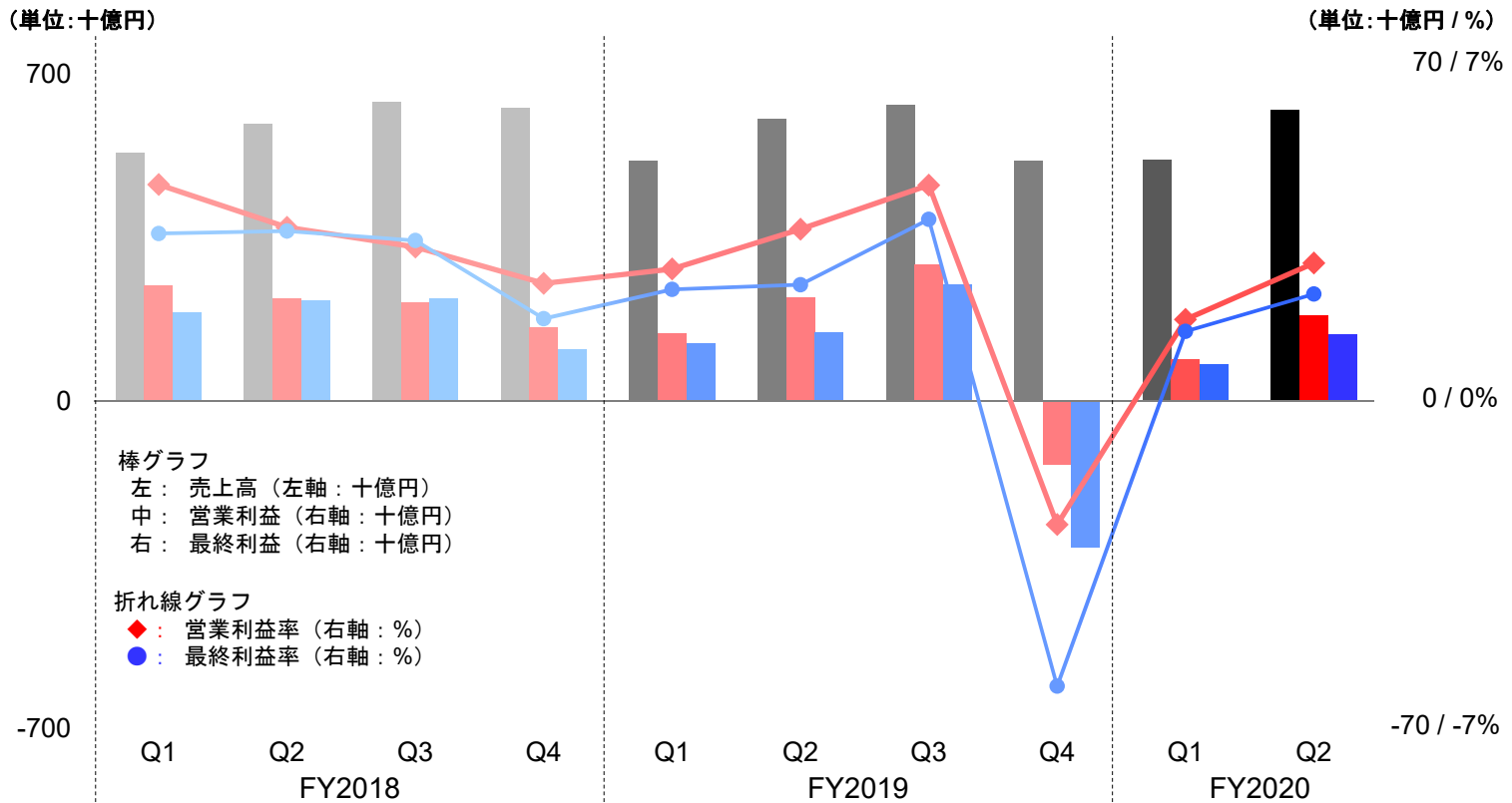
SHARP

3

- ・ 続いては、2020年度 第2四半期の業績数値です。
- ・ 売上高は、6,248億円となりました。
- ・ 利益につきましては、  
営業利益が 185億円、  
経常利益が 164億円、  
親会社株主に帰属する四半期純利益が、145億円となりました。
- ・ なお、新型コロナウイルスによる影響は、  
売上高に約260億円、営業利益に約100億円ありました。

# 2020年度 第2四半期 連結業績概要(3)

・業績は、2019年度 第4四半期を底に回復基調、売上・利益とも第1四半期を上回る



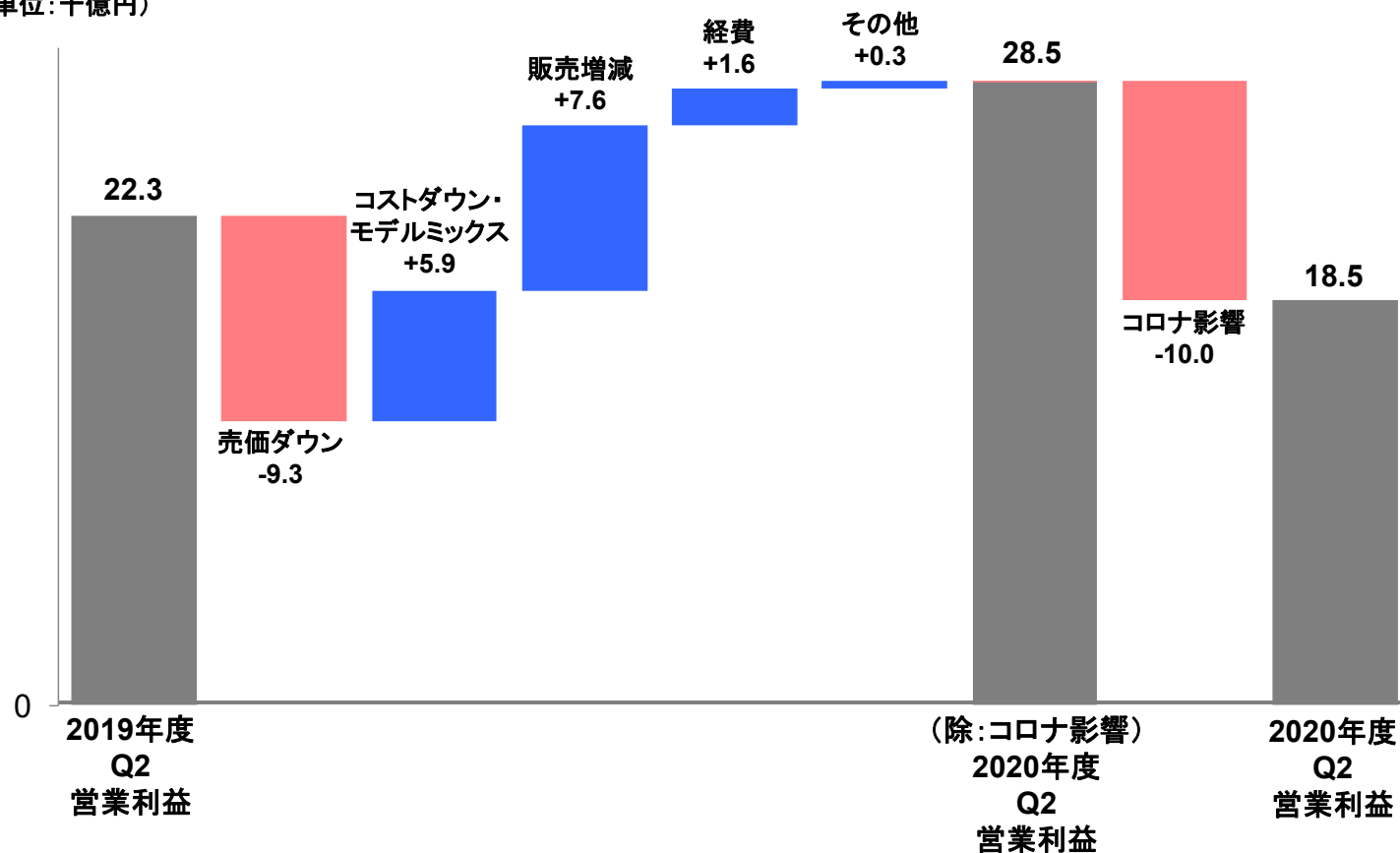
SHARP

4

- ・ 次のスライドは、四半期毎の業績の推移になります。
- ・ ご覧のように、業績は、2019年度 第4四半期を底に回復基調にあり、2020年度の第2四半期は、売上・利益とも、第1四半期から さらに回復しております。

# 2020年度 第2四半期 営業利益 要因別増減分析(対前年同期)

(単位:十億円)



**SHARP**

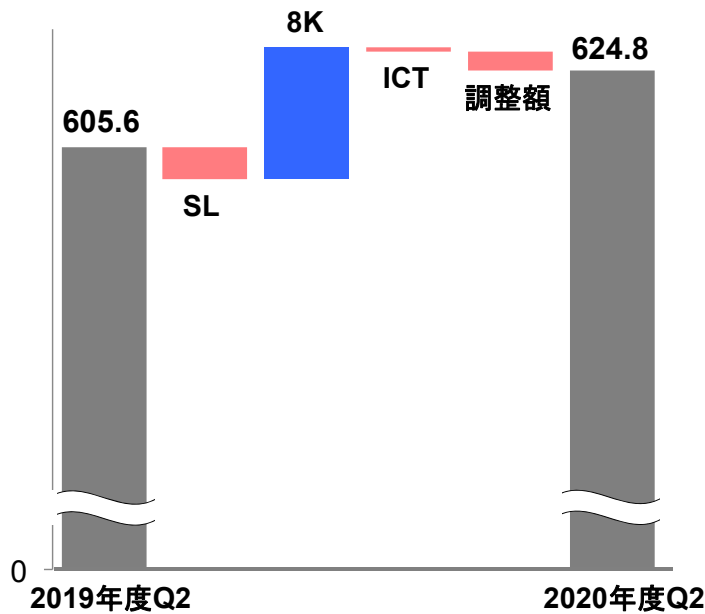
5

- ・ 次のグラフは、2020年度 第2四半期の営業利益の前年同期に対する増減を要因別にまとめたものです。
- ・ 2020年度の第2四半期は、ご覧のように、新型コロナによる約100億円の利益影響がありました。
- ・ これを除くと、「売価ダウン」による93億円の収益の減少、「コストダウン・モデルミックス」による59億円の収益の改善、「販売増減」による76億円の利益の増加、「経費」の削減による16億円の収支影響などがありました。

# 2020年度 第2四半期 セグメント別増減分析(対前年同期)

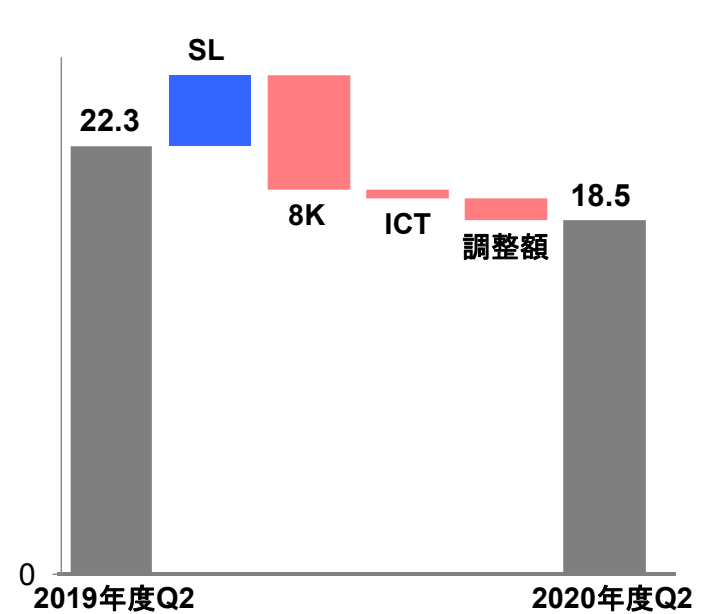
売上高

(単位:十億円)



営業利益

(単位:十億円)



SL :スマートライフ

8K :8Kエコシステム

ICT :ICT

**SHARP**

6

・ 次のスライドは、前年同期からの売上高と営業利益の増減をセグメント別にまとめております。

・ 売上高につきましては、8Kエコシステムが増加し、スマートライフとICTが減少しました。

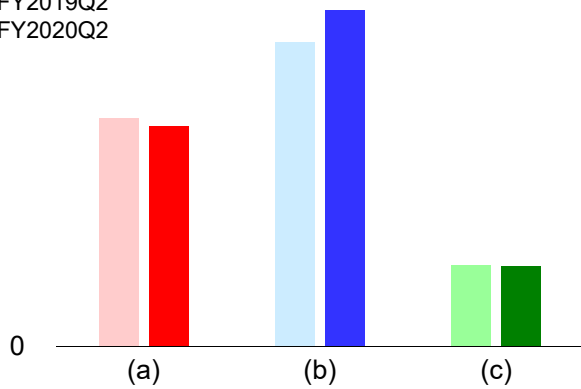
営業利益につきましては、スマートライフが増益となり、8KエコシステムとICTが減益となりました。

# セグメント別売上高

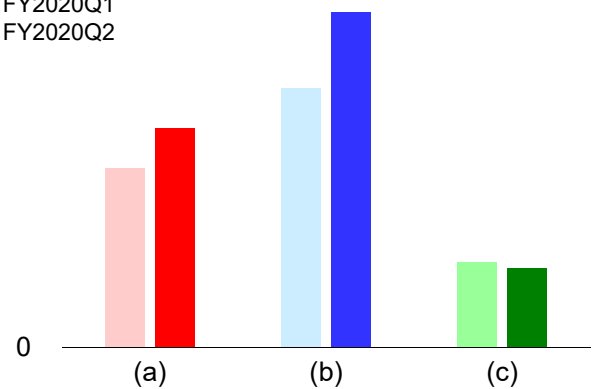
(単位:十億円)

	2019年度				2020年度			コロナ影響
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	前同比	
(a) スマートライフ	181.0	233.9	247.6	193.9	184.5	225.9	-3.4%	-
(b) 8Kエコシステム	262.5	311.8	324.3	258.4	267.1	344.6	+10.5%	-26.8
(c) ICT	96.2	83.1	88.3	89.4	88.3	82.1	-1.1%	+0.9
小計	539.8	628.9	660.3	541.8	539.9	652.8	+3.8%	
調整額	-24.8	-23.3	-25.4	-26.1	-22.7	-27.9	-	
合計	514.9	605.6	634.9	515.6	517.2	624.8	+3.2%	-26.0

左棒 : FY2019Q2  
右棒 : FY2020Q2



左棒 : FY2020Q1  
右棒 : FY2020Q2



**SHARP**

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

7

- ・ 次のスライドは、セグメント別 売上高の一覧です。

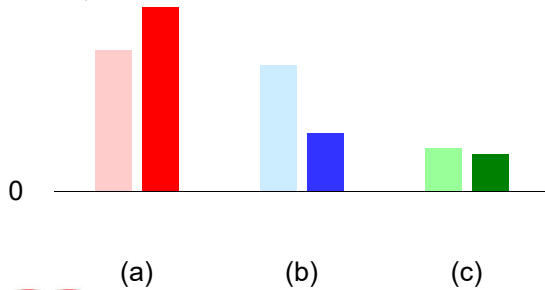


# セグメント別営業利益

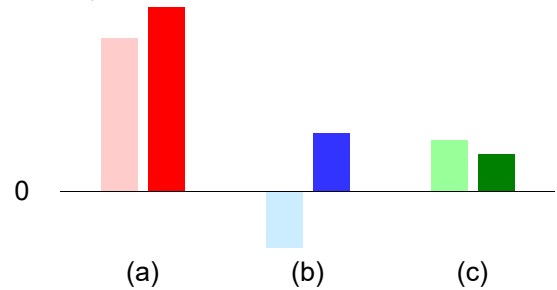
※()内の数字は営業利益率です。 (単位:十億円)

	2019年度				2020年度		前同比	コロナ影響
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2		
(a) スマートライフ	6.2 (3.5%)	12.3 (5.3%)	16.4 (6.7%)	4.6 (2.4%)	13.4 (7.3%)	16.1 (7.1%)	+30.3%	-
(b) 8Kエコシステム	6.5 (2.5%)	11.0 (3.5%)	11.7 (3.6%)	-14.4 (-5.6%)	-4.9 (-1.9%)	5.0 (1.5%)	-54.1%	-10.1
(c) ICT	7.3 (7.6%)	3.7 (4.5%)	4.4 (5.1%)	4.5 (5.1%)	4.4 (5.0%)	3.2 (4.0%)	-13.4%	+0.0
小計	20.1 (3.7%)	27.2 (4.3%)	32.7 (5.0%)	-5.1 (-1.0%)	12.9 (2.4%)	24.4 (3.7%)	-10.1%	
調整額	-5.5	-4.8	-3.2	-8.4	-3.8	-5.9	-	
合計	14.6 (2.8%)	22.3 (3.7%)	29.4 (4.6%)	-13.6 (-2.6%)	9.0 (1.8%)	18.5 (3.0%)	-17.1%	-10.0

左棒: FY2019Q2  
右棒: FY2020Q2



左棒: FY2020Q1  
右棒: FY2020Q2



SHARP

- ・ 続いては、セグメント別 営業利益の一覧になります。

# スマートライフ

・白物家電を中心に好調に推移、**前年同期比で30%を超える大幅な増益**

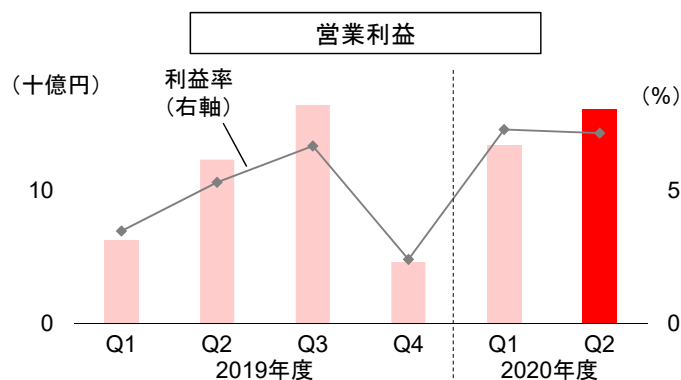
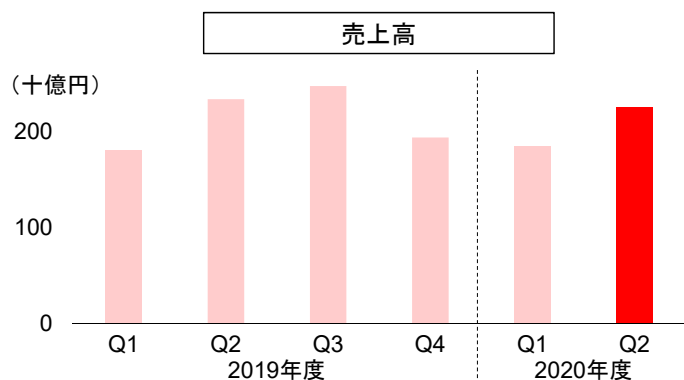
	2019年度				2020年度			(単位:十億円)	コロナ影響
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	前同比		
売上高	181.0	233.9	247.6	193.9	184.5	225.9	-3.4%	-	
営業利益	6.2	12.3	16.4	4.6	13.4	16.1	+30.3%	-	
(利益率)	(3.5%)	(5.3%)	(6.7%)	(2.4%)	(7.3%)	(7.1%)			

■Q2 売上高(対前年同期):減収

(減) デバイスは、上期トータルで前同並みの売上を確保するも、顧客の需要時期の違いによりQ2は減収  
 (増) プラズマクラスターが引き続き好調に推移  
 (増) 冷蔵庫や洗濯機がQ1から大幅に伸長、前同を上回る

■Q2 営業利益(対前年同期):増益

(増) 各事業の原価力が向上  
 (増) 白物家電の高付加価値化



SHARP

- ・ 次のスライドをご覧ください。セグメント毎の概況になります。まずは、スマートライフです。
- ・ 第2四半期の売上高は、前年同期比 3.4%減の 2,259億円となりました。デバイスは、上期トータルで前年同期並みの売上を確保しておりますが、顧客の需要時期の違いにより、第2四半期は減収となっています。また、白物家電では、プラズマクラスターが引き続き好調に推移するとともに、冷蔵庫や洗濯機が第1四半期から大幅に伸長し前年同期を上回りました。
- ・ 営業利益は、161億円となり、前年同期から 30%を超える大幅な増益となりました。各事業の原価力が着実に向上していることに加え、白物家電で高付加価値化が進んだことなどによるものです。

# 8Kエコシステム

・2019年度 第4四半期を底に各事業で回復が進み、第2四半期は黒字化、上期トータルでも黒字

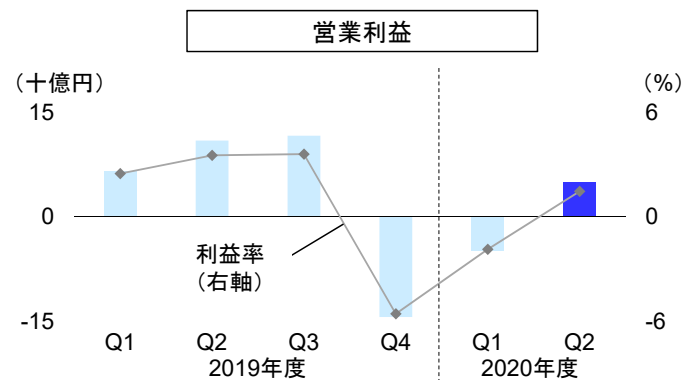
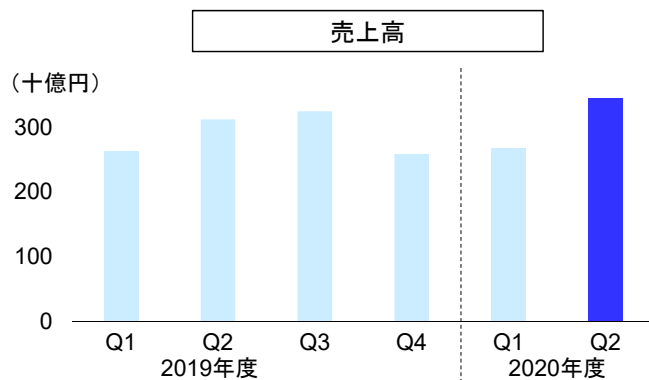
	2019年度				2020年度			コロナ影響
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	前同比	
売上高	262.5	311.8	324.3	258.4	267.1	344.6	+10.5%	-26.8
営業利益	6.5	11.0	11.7	-14.4	-4.9	5.0	-54.1%	-10.1
(利益率)	(2.5%)	(3.5%)	(3.6%)	(-5.6%)	(-1.9%)	(1.5%)		

## ■Q2 売上高(対前年同期):増収

- (増) 高付加価値化の進展もあり、テレビの売上高が増加
- (増) PC・タブレット向けやスマホ向けのパネルが伸長
- (減) 車載向けディスプレイやMFPは、Q1比では増収となるも、前同比では減収

## ■Q2 営業利益(対前年同期):減益

- (減) 車載向け等への想定を上回る新型コロナ影響に対応し、ディスプレイの在庫を抑制
- (減) MFPはプリントボリューム減もあり減益となったものの、Q1から大幅に回復、上期トータルでも黒字
- (増) テレビの売上増、原価力向上



SHARP

10

・次は、8Kエコシステムです。

・第2四半期の売上高は、前年同期比 10.5%増の 3,446億円となりました。高付加価値化の進展もありテレビの売上高が増加したほか、PC・タブレット向けパネルやスマホ向けパネルなども増収となりました。車載向けパネルやMFPは、新型コロナの影響により、減収となりましたが、第1四半期からは伸長しています。

・営業利益は、前年同期比 54.1%減の 50億円となりました。

ディスプレイは、第1四半期からは回復しているものの、減益となりました。車載向けなどで、想定を上回る新型コロナの影響があったため、これに対応し、在庫の抑制を進めたことによるものです。

MFPは、オフィス閉鎖に伴うプリントボリュームの減少もあり、減益となりましたが、第1四半期から大幅に回復しております。

また、テレビは、売上の増加や原価力の向上により、増益となっています。

・8Kエコシステムでも、2019年度の第4四半期を底に各事業で回復が進んでおり、第2四半期は黒字化し、上期トータルでも黒字となっています。

# ICT

・新製品発売時期の違いによる影響などはあるものの、引き続き安定的に収益を計上

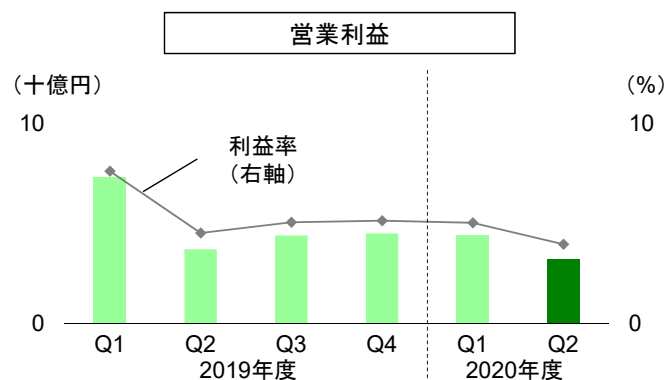
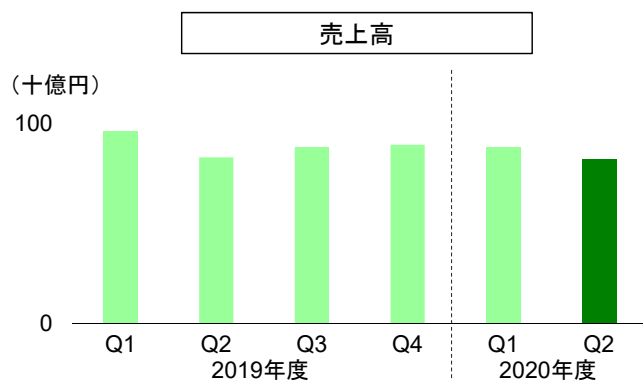
	2019年度				2020年度			(単位:十億円)	コロナ影響
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	前同比		
売上高	96.2	83.1	88.3	89.4	88.3	82.1	-1.1%	+0.9	
営業利益	7.3	3.7	4.4	4.5	4.4	3.2	-13.4%	+0.0	
(利益率)	(7.6%)	(4.5%)	(5.1%)	(5.1%)	(5.0%)	(4.0%)			

## ■Q2 売上高(対前年同期):減収

(減) PCは、一部の部材が隘路になり、減収。  
 (増) 通信事業は、新製品の発売時期の違いもあり伸長、上期トータルでも増収

## ■Q2 営業利益(対前年同期):減益

(減) PCの減収に伴う減益  
 (減) スマホのモデルミックスが変化  
 (増) スマホの増収による増益



**SHARP**

11

- ・ 次のスライドをご覧ください。ICTになります。
- ・ 第2四半期の売上高は、前年同期比 1.1%減の 821億円となりました。PCは、一部の部材が隘路となったことなどから、減収となりました。通信事業の売上高は、新製品の発売時期の違いもあって、前年同期を上回り、上期トータルでも増収となっています。
- ・ 営業利益は、前年同期比 13.4%減の 32億円となりました。PCが減収に伴い減益となったほか、通信では、ミドルレンジモデルの比率が増加した影響がありましたが、両事業とも、引き続き 安定的に収益を計上しています。

# 2020年度 上期 連結業績概要

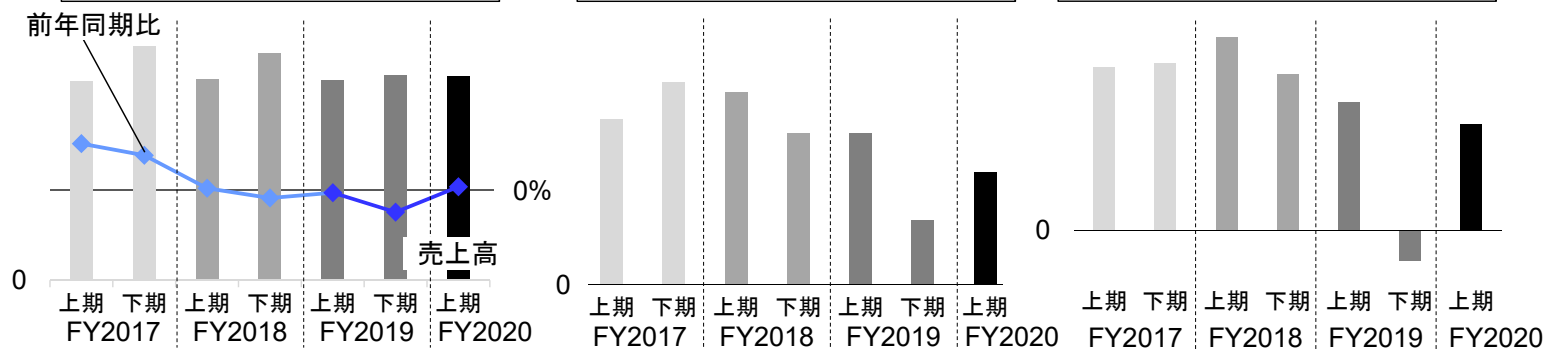
(単位:十億円)

	2019年度				2020年度		コロナ 影響	2020年度 通期予想
	上期	下期	通期	前同比	上期	前同比		
売上高	1,120.6	1,150.5	2,271.2	-5.4%	1,142.1	+1.9%	-85.0	2,350.0
営業利益	36.9 (3.3%)	15.8 (1.4%)	52.7 (2.3%)	-37.3%	27.5 (2.4%)	-25.3%	-26.0	82.0 (3.5%)
経常利益	33.1 (3.0%)	22.4 (1.9%)	55.5 (2.4%)	-19.5%	24.2 (2.1%)	-26.9%	-26.0	70.0 (3.0%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	27.3 (2.4%)	-6.4 (-0.6%)	20.9 (0.9%)	-71.8%	22.5 (2.0%)	-17.8%	-26.0	50.0 (2.1%)
平均為替レート								
ドル円	107.63	107.85	107.74		105.92			
ユーロ円	119.91	118.72	119.32		119.79			

売上高

営業利益

親会社株主に帰属する四半期純利益



SHARP

12

- ・ 次のスライドは、2020年度 上期の業績数値です。
- ・ 売上高は、1兆1,421億円となりました。
- ・ 利益については、  
営業利益が 275億円、  
経常利益が 242億円、  
親会社株主に帰属する四半期純利益が 225億円となりました。

# 営業外損益・特別損益・法人税等の概要

(単位:十億円)

	2019年度				2020年度		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	前同 増減額
営業利益	14.6	22.3	29.4	-13.6	9.0	18.5	-3.8
営業外損益	-0.6	-3.1	+1.5	+5.0	-1.2	-2.0	+1.1
内:支払利息	-1.2	-1.0	-1.3	-1.0	-1.2	-1.5	-0.5
為替差損益	+0.1	-0.7	+1.7	+1.8	+2.2	+1.3	+2.0
持分法による投資損益	-0.9	-1.6	-0.7	-0.5	-0.6	-2.8	-1.2
経常利益	13.9	19.1	31.0	-8.5	7.7	16.4	-2.7
特別損益	+0.0	+0.1	+0.2	-17.6	+2.5	-0.0	-0.1
内:投資有価証券評価損	-	-	-	-16.1	-	-	-
税前利益	13.9	19.3	31.3	-26.2	10.3	16.4	-2.9
法人税等 他	-1.4	-4.4	-6.2	-5.2	-2.4	-1.8	+2.6
親会社株主に帰属する 四半期純利益	12.5	14.8	25.0	-31.4	7.9	14.5	-0.3

**SHARP**

13

- ・ 次のスライドは、主な「営業外損益」・「特別損益」・「法人税等」の概要です。
- ・ ご覧のように、2020年度 第2四半期には、  
大きな「営業外損益」「特別損益」はありませんでした。

# 連結貸借対照表推移

- ・現預金は、6月末の2,361億円に対し、2,198億円に
- ・純資産は 3,092億円に増加し、自己資本比率は 15.9%に上昇

(単位:十億円)

	2019年度	2020年度			2019年度	2020年度	
	3月末	6月末	9月末		3月末	6月末	9月末
現預金	225.0	236.1	219.8	支払手形・買掛金	349.2	335.3	362.8
受取手形・売掛金	429.1	414.7	476.3	短期借入金	237.7	285.9	251.9
たな卸資産	294.7	301.4	275.0	1年内社債	0.0	0.0	0.0
その他	139.6	147.7	145.2	その他	274.0	245.7	258.9
<b>流動資産計</b>	<b>1,088.6</b>	<b>1,100.0</b>	<b>1,116.5</b>	<b>流動負債計</b>	<b>861.0</b>	<b>867.0</b>	<b>873.6</b>
有形固定資産	410.7	406.4	406.7	社債	0.0	0.0	0.0
無形固定資産	45.5	45.8	45.2	長期借入金	538.7	536.8	537.1
投資その他資産	287.4	285.6	276.2	その他	137.4	136.1	124.7
<b>固定資産計</b>	<b>743.7</b>	<b>737.9</b>	<b>728.2</b>	<b>固定負債計</b>	<b>676.1</b>	<b>672.9</b>	<b>661.8</b>
繰延資産	0.0	0.0	0.0	<b>純資産</b>	<b>295.1</b>	<b>297.9</b>	<b>309.2</b>
<b>資産合計</b>	<b>1,832.3</b>	<b>1,837.9</b>	<b>1,844.7</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>1,832.3</b>	<b>1,837.9</b>	<b>1,844.7</b>
期末日レート							
ドル円	107.83	106.74	104.81	自己資本比率	15.0%	15.2%	15.9%
ユーロ円	118.15	119.55	122.66	自己資本	275.3	278.9	293.2

**SHARP**

14

- ・ 続いては、貸借対照表の推移です。
- ・ 9月末の「現預金」は、6月末の2,361億円に対し、2,198億円となっております。

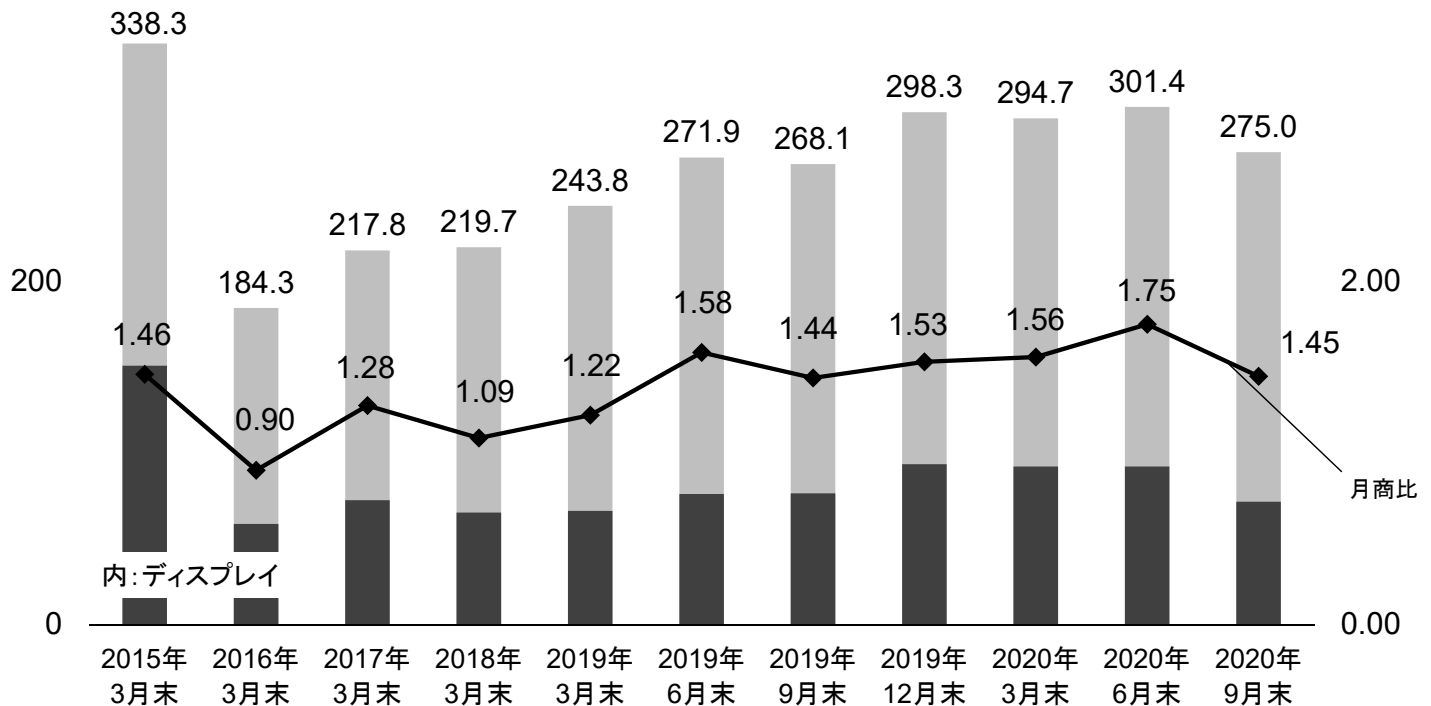
また、業績の回復に伴い、「純資産」は 3,092億円に増加し、「自己資本比率」も 15.9%に上昇しております。

# たな卸資産の推移

- ・たな卸資産は、2020年6月末の3,014億円に対し、2,750億円に減少
- ・今後の販売計画等を勘案した在庫水準

(単位:十億円)

(単位:ヶ月)



**SHARP**

15

- ・ 次のスライドをご覧ください。「たな卸資産」の推移になります。
- ・ 2020年度 第2四半期末の「たな卸資産」は、第1四半期末の 3,014億円から 2,750億円に減少し、月商比は、0.30ヶ月減の 1.45ヶ月となっております。
- ・ 新型コロナウイルスや米中貿易摩擦の動向、それに伴うデバイス顧客の需要動向など、事業環境の変化をさらに注視し、適正な在庫水準の維持に努めてまいります。

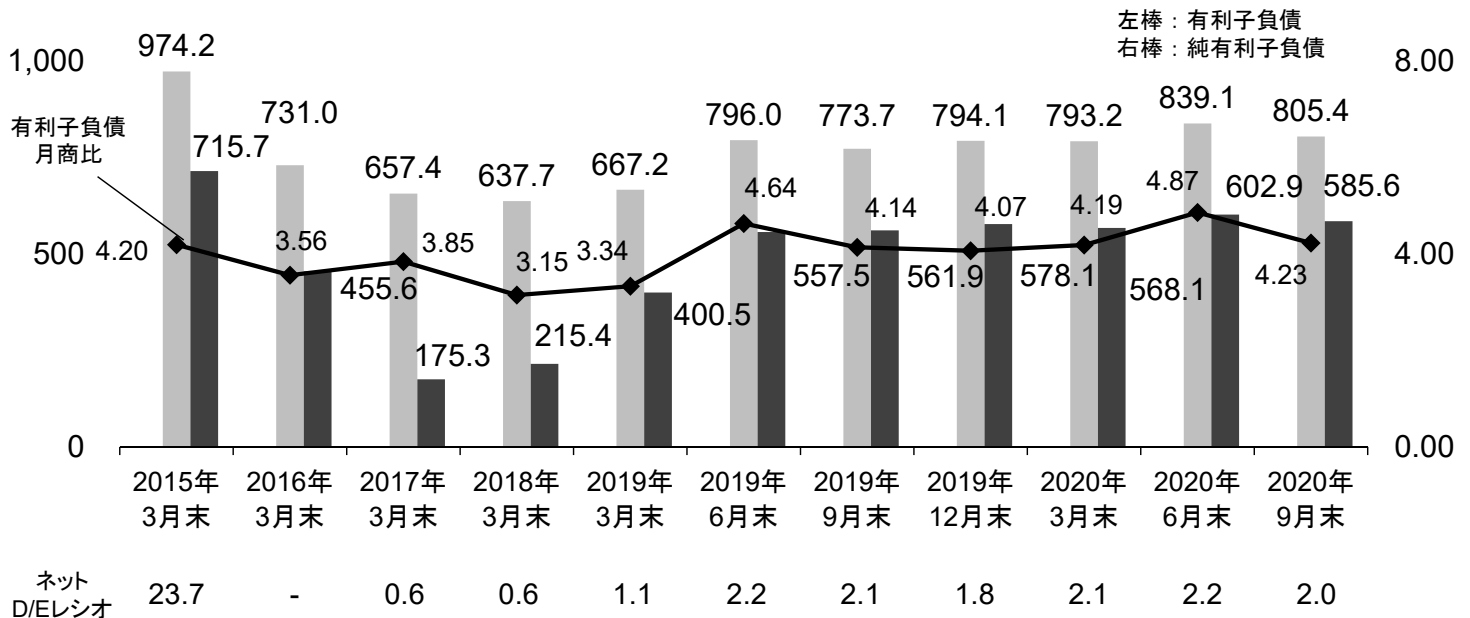


# 有利子負債の推移

- ・有利子負債は、2020年6月末の8,391億円に対し、8,054億円に減少、  
月商比は、4.87ヶ月に対し、4.23ヶ月に
- ・純有利子負債※は、6月末の6,029億円に対し、5,856億円になる

(単位:十億円)

(単位:ヶ月)



※純有利子負債：有利子負債 - 現預金

**SHARP**

16

- ・ 次のスライドは、有利子負債の推移です。
  - ・ 2020年度 第2四半期末の有利子負債は、  
第1四半期末の 8,391億円に対し、8,054億円となりました。
- 純有利子負債は、  
第1四半期末の 6,029億円に対し、5,856億円に減少しています。
- ・ 今後とも、在庫の適正化や、効率的な設備投資の実施に努め、  
キャッシュフローの改善を図ります。

# 2020年度 通期 連結業績予想

・売上高・各利益とも、**前回予想を据え置く**

(単位:十億円)

	2019年度	2020年度			
	通期	上期	下期差引	通期予想	前年比
売上高	2,271.2	1,142.1	1,207.9	2,350.0	+3.5%
営業利益 (利益率)	52.7 (2.3%)	27.5 (2.4%)	54.5 (4.5%)	82.0 (3.5%)	+55.4%
経常利益 (利益率)	55.5 (2.4%)	24.2 (2.1%)	45.8 (3.8%)	70.0 (3.0%)	+26.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (利益率)	20.9 (0.9%)	22.5 (2.0%)	27.5 (2.3%)	50.0 (2.1%)	2.4倍
平均為替レート					
ドル円	107.74	105.92	105.00		
ユーロ円	119.32	119.79	120.00		

**SHARP**

17

- ・ 次のスライドは、2020年度の業績予想です。
- ・ 各セグメントで回復が進む見込みであることから、  
ご覧のように、売上高・各利益とも、前回予想を据え置いています。

## Ⅱ. 補足資料

- ・ 補足資料として、「セグメント別売上高・営業利益」等の実績をまとめております。
- ・ 第1四半期から第2四半期にかけ、各国で段階的に経済活動が再開されるなか、当社の業績は着実に回復し、5月の決算発表でお話しさせていただいた通り、上期の実績は2019年度の下期を上回りました。

今後、経済活動を全面的に停止させるような規制が実施されることがなければ、引き続き業績は回復し、2020年度の下期には2019年度の上期を上回り、通期の業績予想を達成できると考えております。

- ・ ただし、足もとでは、新型コロナウイルスの感染が再拡大しておりますので、その動向や各国政府の対応を注視しております。
- ・ 適切な対策をタイムリーに講じ、販売状況やサプライチェーンへの影響の最小化に努め、従業員の安全と業績の両立、財務体質の改善、株主価値の向上を図るとともに、事業活動を通じた社会貢献に取り組んでまいります。
- ・ ご清聴ありがとうございました。

# 連結業績概要

(単位:十億円)

	2019年度			2020年度		
	上期	下期	通期	上期	下期差引	通期予想
売上高	1,120.6	1,150.5	2,271.2	1,142.1	1,207.9	2,350.0
営業利益	36.9	15.8	52.7	27.5	54.5	82.0
(利益率)	(3.3%)	(1.4%)	(2.3%)	(2.4%)	(4.5%)	(3.5%)
経常利益	33.1	22.4	55.5	24.2	45.8	70.0
(利益率)	(3.0%)	(1.9%)	(2.4%)	(2.1%)	(3.8%)	(3.0%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	27.3	-6.4	20.9	22.5	27.5	50.0
(利益率)	(2.4%)	(-0.6%)	(0.9%)	(2.0%)	(2.3%)	(2.1%)

SHARP

19

# 四半期 連結業績概要

(単位:十億円)

	2019年度				2020年度	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
売上高	514.9	605.6	634.9	515.6	517.2	624.8
営業利益	14.6	22.3	29.4	-13.6	9.0	18.5
(利益率)	(2.8%)	(3.7%)	(4.6%)	(-2.6%)	(1.8%)	(3.0%)
経常利益	13.9	19.1	31.0	-8.5	7.7	16.4
(利益率)	(2.7%)	(3.2%)	(4.9%)	(-1.7%)	(1.5%)	(2.6%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	12.5	14.8	25.0	-31.4	7.9	14.5
(利益率)	(2.4%)	(2.5%)	(3.9%)	(-6.1%)	(1.5%)	(2.3%)

SHARP

20

# セグメント別売上高

(単位:十億円)

	2019年度			2020年度
	上期	下期	通期	上期
スマートライフ	415.0	441.5	856.5	410.4
8Kエコシステム	574.4	582.8	1,157.2	611.7
ICT	179.3	177.8	357.2	170.5
小計	1,168.8	1,202.2	2,371.0	1,192.8
調整額	-48.1	-51.6	-99.8	-50.6
合計	1,120.6	1,150.5	2,271.2	1,142.1

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

# セグメント別営業利益

(単位:十億円)

	2019年度			2020年度
	上期	下期	通期	上期
スマートライフ	18.6 (4.5%)	21.1 (4.8%)	39.8 (4.6%)	29.5 (7.2%)
8Kエコシステム	17.6 (3.1%)	-2.6 (-0.5%)	14.9 (1.3%)	0.1 (0.0%)
ICT	11.0 (6.2%)	9.0 (5.1%)	20.1 (5.6%)	7.6 (4.5%)
小計	47.3 (4.1%)	27.5 (2.3%)	74.9 (3.2%)	37.3 (3.1%)
調整額	-10.4	-11.7	-22.1	-9.7
合計	36.9 (3.3%)	15.8 (1.4%)	52.7 (2.3%)	27.5 (2.4%)

※()内の数字は営業利益率です。

## 四半期 セグメント別売上高

(単位:十億円)

	2019年度				2020年度	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
スマートライフ	181.0	233.9	247.6	193.9	184.5	225.9
8Kエコシステム	262.5	311.8	324.3	258.4	267.1	344.6
ICT	96.2	83.1	88.3	89.4	88.3	82.1
小計	539.8	628.9	660.3	541.8	539.9	652.8
調整額	-24.8	-23.3	-25.4	-26.1	-22.7	-27.9
合計	514.9	605.6	634.9	515.6	517.2	624.8

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

## 四半期 セグメント別営業利益

(単位:十億円)

	2019年度				2020年度	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
スマートライフ	6.2 (3.5%)	12.3 (5.3%)	16.4 (6.7%)	4.6 (2.4%)	13.4 (7.3%)	16.1 (7.1%)
8Kエコシステム	6.5 (2.5%)	11.0 (3.5%)	11.7 (3.6%)	-14.4 (-5.6%)	-4.9 (-1.9%)	5.0 (1.5%)
ICT	7.3 (7.6%)	3.7 (4.5%)	4.4 (5.1%)	4.5 (5.1%)	4.4 (5.0%)	3.2 (4.0%)
小計	20.1 (3.7%)	27.2 (4.3%)	32.7 (5.0%)	-5.1 (-1.0%)	12.9 (2.4%)	24.4 (3.7%)
調整額	-5.5	-4.8	-3.2	-8.4	-3.8	-5.9
合計	14.6 (2.8%)	22.3 (3.7%)	29.4 (4.6%)	-13.6 (-2.6%)	9.0 (1.8%)	18.5 (3.0%)

※()内の数字は営業利益率です。

## 設備投資・減価償却費等

(単位:十億円)

	2019年度			2020年度		
	上期	下期	通期	上期	下期差引	通期予想
設備投資	29.3	30.8	60.2	21.9	78.1	100.0
内:ディスプレイ	10.2	9.1	19.4	6.4	58.6	65.0
減価償却費	30.8	36.2	67.1	30.4	39.6	70.0
研究開発費	49.9	50.6	100.5	43.0	62.0	105.0

(単位:円)

平均為替レート	2019年度			2020年度	
	上期	下期	通期	上期	下期予想
米ドル	107.63	107.85	107.74	105.92	105.00
ユーロ	119.91	118.72	119.32	119.79	120.00

## 四半期 設備投資・減価償却費等

(単位:十億円)

	2019年度				2020年度	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
設備投資	9.0	20.2	23.8	6.9	10.3	11.5
内:ディスプレイ	3.6	6.6	5.5	3.6	4.4	2.0
減価償却費	14.9	15.9	18.0	18.1	15.5	14.8
研究開発費	28.9	21.0	24.9	25.6	20.3	22.6

(単位:円)

平均為替レート	2019年度				2020年度	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
米ドル	108.90	106.35	107.76	107.94	106.62	105.22
ユーロ	121.99	117.84	118.82	118.62	116.97	122.61

# SHARP

Be Original.

